

NEWS RELEASE



2026 年 7 月 27 日
株式会社エアロネクスト
ジェイフロンティア株式会社

エアロネクストとジェイフロンティア、2026 年 4 月の改正医療法を受け業務提携 ～「メディカル・ドローンデポ」を組み込んだ日本初^{*1}のオンライン診療からドローン医薬品配送までを一体化した「空から支える地域医療インフラ」の実現へ～

株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 グループ CEO：田路圭輔、以下「エアロネクスト」）とジェイフロンティア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中村篤弘、以下「ジェイフロンティア」）は、2026 年 4 月の医療法改正を受け、地域医療 DX および持続可能な医療提供体制の実現に向け、オンライン診療とドローン物流を融合した「メディカル・ドローンデポ」の共同構築と、「空から支える地域医療インフラ」の実現を目的とする業務提携契約を締結しました。



本提携では、エアロネクストが全国で展開する新スマート物流「SkyHub^{®*2}」と、ジェイフロンティアが提供するオンライン診療・オンライン服薬指導サービス「SOKUYAKU^{*3}」を連携させ、オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品配送までをシームレスにつなぐ新たな地域医療提供モデルの社会実装を推進します。

これにより、中山間地域や離島など医療資源が限られる地域においても、居住地を問わず必要な医療サービスを受けられる環境を整備するとともに、平時には地域医療を支え、有事には医薬品輸送を継続できるレジリエントな地域医療インフラの構築を目指します。



なお、「メディカル・ドローンデポ」を組み込んだオンライン診療からドローン医薬品配送までを一体化した「空から支える地域医療インフラ」の構築は、日本初の試みとなります。

■提携の背景と目的

2026 年 4 月の医療法改正により、デジタル技術を活用した地域医療提供体制の整備が本格的に進められています。一方で、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、医師不足や薬局へのアクセス、医療従事

NEWS RELEASE

者不足など、地域医療を取り巻く課題は年々深刻化しています。特に中山間地域や離島では、医療機関までの移動負担や医薬品の受け取りが大きな課題となっています。

オンライン診療やオンライン服薬指導の普及により、「診療を受ける」ことは可能になりつつありますが、「必要な薬を患者へ確実に届ける」というラストワンマイルの仕組みについては、さらなる充実が求められています。

こうした課題を解決するため、エアロネクストが全国で社会実装を進める新スマート物流「SkyHub[®]」と、ジェイフロンティアが展開するオンライン診療・オンライン服薬指導サービス「SOKUYAKU」を連携し、「診療・処方・配送」を一体化した新たな地域医療インフラの構築に取り組みます。

本提携では、「オンライン診療受診施設」と「ドローンデポ[®]」を融合した「メディカル・ドローンデポ」という新たな地域医療拠点を共同で整備し、医療アクセスに地域差のない持続可能な医療提供体制の実現を目指します。

■業務提携の概要

1.締結日 2026年7月27日

2.内容

両社は、以下の取り組みを共同で推進します。

(1) メディカル・ドローンデポの共同構築

全国のドローンデポ[®]をオンライン診療受診施設へ拡張し、「診療・処方・配送」をワンストップで提供する地域医療拠点を共同で整備します。

(2) オンライン診療×ドローン配送

オンライン診療後に処方された医薬品について、必要に応じてドローン配送を組み合わせたサービスモデルを共同で構築します。これにより、患者の待ち時間短縮、通院負担の軽減、医薬品受け取りまでの時間短縮を実現します。

(3) 地域医療インフラの共同構築

SkyHub[®]ネットワークを活用し、自治体、医療機関、薬局、物流事業者と連携した地域医療物流ネットワークを共同で整備します。

(4) 災害時・有事における医療物流

平時から運用されるドローン物流ネットワークを活用し、災害や交通寸断時にも医薬品輸送を継続できる体制の構築を進めます。

(5) 新たな地域医療サービスへの展開

医薬品配送に加え、検体輸送、医療機器配送、在宅医療支援その他地域医療を支えるサービスへの展開を共同で推進します。

3. 両社の目指す世界

本提携は、単にオンライン診療にドローン配送を組み合わせるものではありません。

2026年4月の医療法改正を契機に進む地域医療DXを見据え、「オンライン診療受診施設」と「ドローンデポ[®]」を融合した新たな地域医療拠点「メディカル・ドローンデポ」を全国へ展開し、地域医療を支える新しいインフラの構築を目指す取り組みです。

ジェイフロンティアが担うデジタル医療と、エアロネクストが構築する空の物流インフラを融合させることで、「診療・処方・配送」をシームレスにつなぐ新しい医療提供モデルを実現します。

SOKUYAKUは、オンライン診療から服薬指導・医薬品配送までをワンストップで提供するプラットフォームとして、地域医療DXへの貢献が高く評価され、「ジャパン・レジリエンス・アワード2026」において最優秀賞を受賞しました。本提携は、この取り組みをさらに加速・進化させるものであり、エアロネクストのドローン物流インフラとの融合によって、これまでアクセスが困難であった地域への医療サービス提供を可能とする、新たなステージへの挑戦となります。

さらに、平時には誰もがが必要な医療サービスへアクセスできる環境づくりを支え、有事には医薬品や医療物資を迅速かつ継続的に届けるレジリエントな地域医療インフラとして機能することで、地域医療の持続可能性の向上と、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に貢献してまいります。

NEWS RELEASE

4. 今後の展開

両社は、まず医療アクセスに課題を抱える地域において実証・社会実装を進め、その成果をもとに全国展開を目指します。また、医薬品配送に加え、検体輸送、医療機器配送、在宅医療支援、災害医療支援などへ対象を拡大し、地域医療全体を支える「空の医療インフラ」へと発展させていきます。

将来的には、AI フライトコントローラ^{*4}や多数機・同時遠隔自動操縦オペレーション^{*5}などの先進技術も活用し、日本発の次世代医療物流プラットフォームとして海外展開も視野に入れてまいります。

■代表者のコメント

＜ジェイフロンティア株式会社 代表取締役社長執行役員 中村 篤弘のコメント＞

日本では今、少子高齢化や医療従事者不足、地域間の医療格差に加え、地震や豪雨などの大規模災害の頻発によって、「住む場所によって受けられる医療が変わってしまう」という深刻な社会課題に直面しています。

しかし、本来、医療は誰にとっても平等であるべきです。山間部でも、離島でも、災害で道路が寸断された場所でも、必要な時に必要な医療が届く社会を実現しなければなりません。

私たちは、「SOKUYAKU」を単なるオンライン診療サービスとは考えていません。平時には地域医療を支え、有事には人々の命を守るための“社会インフラ”へと進化させたい。その強い思いを持って事業に取り組んでいます。

今回のエアロネクスト様との提携は、その理想を現実に変える大きな一歩です。オンライン診療と空の物流インフラがつながることで、これまで医療アクセスが困難だった地域にも、診療と薬を確実に届ける新たな仕組みが誕生します。

私たちが目指しているのは、単なる利便性の向上ではありません。

「どこに住んでいても、どんな状況でも、必要な医療を諦めなくていい社会」をつくること。

そして、災害時であっても、人々の命を守るために『医療を止めない国をつくること』です。

自治体、医療機関、薬局、そして多くのパートナーの皆さまと力を合わせ、日本発の新しい地域医療インフラを社会実装し、次世代へ誇れる持続可能な医療の未来を創ってまいります。

一人でも多くの方に、『この国に生まれてよかった』と思っていただける医療の未来を、私たちは空から届けてまいります。

＜エアロネクスト代表取締役社長 グループ CEO 田路 圭輔のコメント＞

このたび、ジェイフロンティア様と業務提携し、「メディカル・ドローンデポ」という新たな地域医療インフラの実現に向けて取り組めることを大変嬉しく思います。

エアロネクストはこれまで、新スマート物流「SkyHub[®]」を通じて、全国各地でドローンを活用した地域物流の効率化を推進してきました。私たちが目指しているのは、物流の効率化だけではなく、人やモノ、サービスを低空域でつなぎ、地域課題を解決する新しい社会インフラの構築です。

今回の提携では、ジェイフロンティア様の「SOKUYAKU」と当社のドローン物流ネットワークを融合し、「診療・処方・配送」をシームレスにつなぐ新たな地域医療モデルを実現します。平時には誰もが必要な医療サービスへアクセスできる環境を支え、有事には医薬品や医療物資を迅速かつ継続的に届ける、レジリエントな地域医療インフラの構築を目指します。

今後は、本提携を起点として、AI 技術や同時遠隔自動操縦オペレーション技術も活用しながら、医薬品配送に加え、検体輸送や在宅医療、災害医療など幅広い分野へ展開し、日本発の新しい地域医療インフラの社会実装を加速してまいります。

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部 (担当：伊東)

Tel: 03-6455-0626 Email: aeronext_pr@aeronext.com

ジェイフロンティア株式会社 広報事務局 (担当：小野寺)

Tel: 03-6427-4662 Email: pr-info@jfrontier.jp

NEWS RELEASE

資料

*1 日本初

エアロネクストによるオンライン調べ（2026年7月27日時点）

*2 新スマート物流 SkyHub®

地域の複数の異なる物流会社の荷物を集約拠点「ドローンデポ®」に集約し、そこから一括して車とドローンを効率的に組み合わせて配送するしくみ。地域物流の最適化・効率化による持続可能な社会インフラの構築は、省人化や脱炭素化にもつながり、物流の持続性を保つことで、買い物弱者、医療弱者、災害対応といった地域の課題解決に貢献する。

すでに国内複数地域で社会実装が進み、平時の物流から災害時の緊急輸送まで対応する、持続可能なフェーズフリー型の地域物流インフラとして展開を広げている。

*3 オンライン服薬指導サービス「SOKUYAKU」

「SOKUYAKU」は、スマートフォンやタブレットを活用し、自宅や職場にいながら診察・服薬指導・薬の受け取りまで完結できるオンライン医療サービスです。

医師によるオンライン診療後、薬剤師によるオンライン服薬指導を実施し、その後は処方薬を自宅配送、または近隣薬局で受け取ることが可能です。最短当日の薬受け取りにも対応しています。

また、医療機関向けには予約管理・問診票・オンライン決済などの機能も提供しており、追加設備投資を抑えながら導入できる点も特徴です。

さらに、災害時や感染症流行時には、“代替医療回線”として機能するフェーズフリー型医療インフラとしての活用も進んでいます。平時のオンライン診療基盤をそのまま非常時へ転用できる点が特徴で、医療アクセス維持や処方薬配送継続に寄与しています。

*4 AI フライトコントローラ

エアロネクストで開発中の国産フライトコントローラ。一つのボードの中にフライトコントローラとAIアクセラレータを搭載している。ドローンの飛行をつかさどるフライトコントローラと人検知を代表とするAI機能をワンボードで処理可能のため、別のハードウェアを搭載することなくAI機能を追加することができる。

*5 同時遠隔自動操縦オペレーション

1人のオペレーターが遠隔監視・コントロールセンターから複数台の無人機体（ドローン、自動配送ロボット、無人運航船など）を同時に制御・監視する技術。

【ジェイフロンティア株式会社とは】

「人と社会を健康に美しく」を企業理念として掲げ、医療の改革、健康の増進、社会の発展に努めます。医療従事者、国民、国の一助となり、全ての人の健康で幸福な生活の実現に貢献します。そして年中無休、いつでもどこでも安心して診療の機会と薬が受け取れる社会の実現を目指してまいります。

*会社概要は <https://jfrontier.jp/company/profile/> をご覧下さい。

【株式会社エアロネクストとは】

エアロネクストは、「人生100年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ。」をミッションに掲げ、低空域を活用した新たな社会インフラの構築を推進しています。

独自の重心制御技術4D GRAVITY®を核とした技術ライセンス事業や共同開発事業に加え、戦略子会社である株式会社NEXT DELIVERYを通じて、地域物流を集約・効率化する新スマート物流「SkyHub®」事業およびドローン運航事業を展開しています。SkyHub®は国内複数地域で社会実装が進み、平時の物流から災害時の緊急輸送まで対応する、持続可能なフェーズフリー型の地域物流インフラとして展開を広げています。

さらに、この物流分野で培った同時遠隔自動操縦オペレーション技術を基盤に、「フィジカルAI」の社会実装を推進しています。AIモジュールを物流、農業、設備点検、防災・警備など幅広い産業分野へ展開し、多様なドローンやロボティクスを統合的に制御するプラットフォームの構築を進めています。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧下さい。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。